

カラスノエンドウ (烏野豌豆)

名前の意味：カラスが食べる野生のエンドウの意味。役に立つ植物に似ているが役に立たない植物にカラス〇〇〇と名付けることがある。

分類：双子葉類、マメ科、クサフジ属

(マメ科の栽培植物：エンドウ、アズキ、ソラマメ、ダイズ、ラッカセイ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：つるのある細かく分かれた葉、濃いピンク色の花、さやえんどうに似た実

種子の運ばれかた：果実が種子をはじき飛ばす

花弁の数：5枚、離弁 (花びらが一枚ずつ散る)

花の時期：4—5月

食べ方：若い芽は塩ゆでするとおひたしで食べられる

見分け方：スズメノエンドウとは花が大きいこと、花の色が濃いピンク色であること、さやが大きく毛がないことで区別できる。

見つけやすさ ★

見分けやすさ ★

総合難易度 ★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)